

3月議会

うれしの市議会だより

Ureshino City Council

2019 Vol.53

令和元年5月1日発行 発行 嬉野市議会 / 編集 議会広報編集特別委員会 〒849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769 TEL 0954(66)9127 FAX 0954(66)2887



臨時議会 企業誘致ビルの事業契約議案可決

平成31年度予算決まる…………… P2~3

補正予算 プレミアム付商品券事業予算化

新しい政策の審議…………… P4~7

市民の声を議会・国へ…………… P 8

話題の市民

ときの人 うれしの絵本カーニバルを開催

市議会 Q&A? …………… P10

15議員が登場・いっぱい質問… P12~21

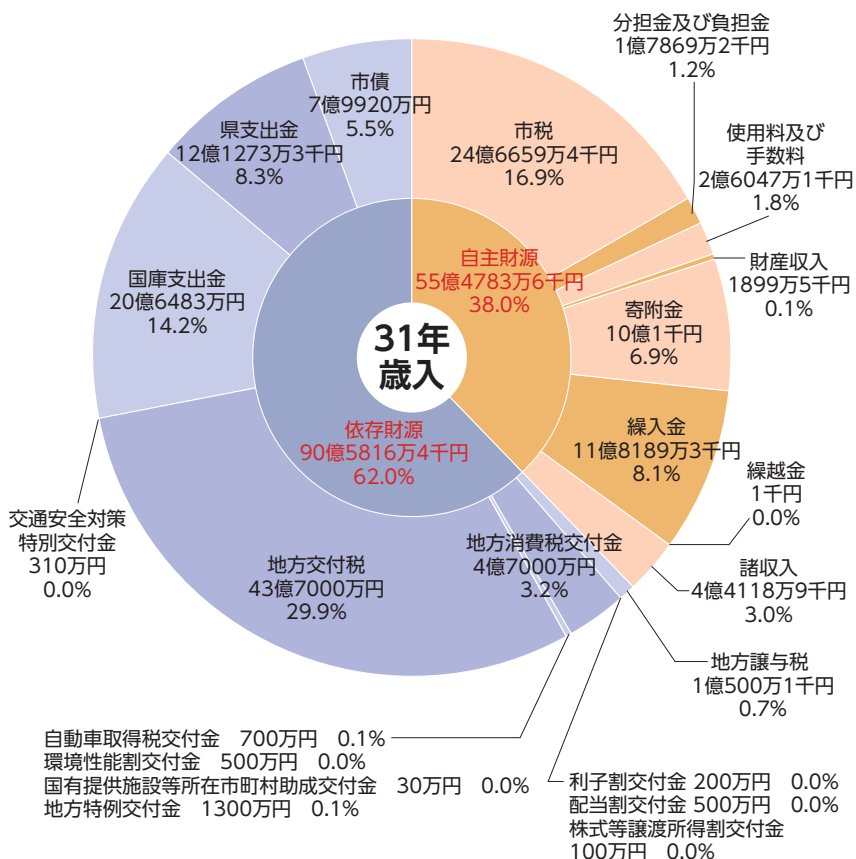
予算

総額

146億600万円

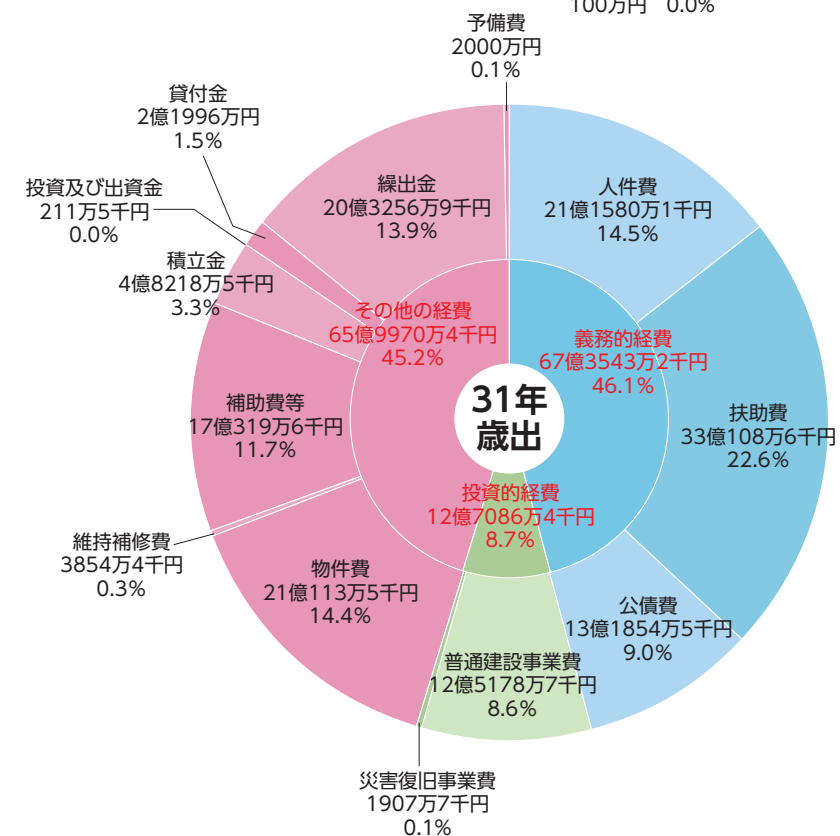
対前年比6.2%減

平成31年第一回定例会が、3月1日に招集され、3月22日までの22日間の日程で開催されました。平成31年度一般会計予算をはじめ、水道事業会計と国民健康保険など特別会計9件、庁舎のあり方検討委員会条例等条例制定2件、職員の勤務時間・休暇等に関する条例等10件の条例改正、市道廃止認定2件、平成30年度一般会計・特別会計補正予算など全39議案、埴野市監査委員と人権擁護委員の人事案件3件、議員発議1件を慎重審議しました。賛否表は(P9)



一般会計

平成31年度一般会計予算は、146億600万円です。平成30年度当初予算と比較して6.2%減額で9億6,000万円の減額予算となっています。理由としてはふるさと応援寄附金返戻率見直し



歳入

市税は市民税と固定資産税に若干の増収が見込

入る事業費の減、約9億3,000万円などが挙げられます。また、ふるさと応援寄附金は返戻率の見直しにより平成31年度は総額を10億円と見込んでいます。

3月
定例会

平成31年度

当初

歳出

歳出では、民生費（社会福祉費・老人福祉費・生活保護費等）が36・8%を占めており、次に総務費（人件費等固定経費）16・2%となっています。

事業としては、医療センター跡地の用地の測量や造成並びに不動産鑑定等を行います。

塩田保健センターに開設予定のこどもセンターについては、10月開設に向けて関係機関との連絡調整を行います。

他には、消防機庫の更新や嬉野消防署移転予定地の造成、高齢者の居場所づくりのサロンの開設健康マイレージなどが予算化となっています。

貯金と借金

借金（公債費）平成30年度末見込み120億4,692万円、平成31年度当初見込みで116億5,900万円となっています。

また、貯金（基金）は平成30年度末見込み64億6,436万円、平成31年2月末見込みで69億3,876万円です。

特別会計

国民健康保険特別会計は前年度より4・6%増の約35億7,100万円

重要な財政運営が重要です。

その他の特別会計

農業集落排水特別会計は前年度より5・5%増で、約3億9,000万円となっており、公債費や処理場の統合にかかる調査費等が増加しています。

となっており保険給付費の伸びが要因です。

会計名	平成31年度当初予算	平成30年度当初予算	増減額	増減率	
一般会計	146億600万円	155億6,600万円	△9億6,000万円	△6.2%	
特別会計	国民健康保険	35億7,133万円	34億1,279万円	1億5,854万円	4.6%
	後期高齢者医療	3億6,347万円	3億5,051万円	1,296万円	3.7%
	農業集落排水	3億9,067万円	3億7,045万円	2,022万円	5.5%
	公共下水道事業費	4億6,561万円	4億7,760万円	△1,198万円	△2.5%
	浄化槽	1億7,888万円	1億5,914万円	1,974万円	12.4%
	嬉野第七土地区画整理事業費	5,554万円	7,100万円	△1,545万円	△21.8%
	嬉野第八土地区画整理事業費	3,218万円	4,391万円	△1,173万円	△26.7%
	嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費	1億6,219万円	2億2,066万円	△5,847万円	△26.5%
小計	52億1,990万円	51億608万円	1億1,382万円	2.2%	
企業会計	水道事業				
	収益的収入	6億2,720万円	5億9,840万円	2,880万円	4.8%
	収益的支出	7億7,304万円	6億5,485万円	1億1,818万円	18.0%
	資本的収入	2,236万円	1億1,209万円	△8,973万円	△80.0%
	資本的支出	3億6,365万円	3億7,775万円	△1,409万円	△3.7%

また合併浄化槽は自己完結型であり、市内の多くは下水道計画区域外となるため目的の早期達成には、浄化槽普及が有効だと考えますので、その推進に期待したいと思えます。

浄化槽特別会計は、約1億7,800万円の前年比12・4%の増となっています。

下水道事業は河川や海等の水質改善が主たる目的であり、推進普及が急がれます。

税滞納の解消を図るために 徴収アドバイザーで推進を

滞納整理と進行管理をおこなうために、徴収アドバイザー事業として12万5千円が予算化されました。

毎年新聞紙上で県内各

市町の税の徴収率が掲載され、嬉野市は80%台で下位にランクされていますが、徴収の可能性が限る限り滞納処分をしない方針であることが要因と

なっています。

職員の努力で現年度課税分の徴収率は97〜98%と高い水準となっていますが、滞納繰越となると徴収が厳しくなりますので、現年度課税の徴収が重要となります。

そのことをふまえ、国税OBのアドバイスによる研修をおこない、主に困難な案件などの市税滞納の解消が目的です。

また、水道料など使用料に係る職員の研修も実施し、使用料等の滞納の解消をおこないながら知識の向上を図ります。

問 具体的な研修内容は。
答 徴収についての研修を年間5回程度開催し、併せて不動産の公売についても研修をおこない、実施につなげていきたい。



▲さらなる徴収率の向上をめざせ！

地域コミュニティの 更なる発展を目指して

今年度、地域コミュニティ推進事業として2,790万円が予算化されました。

市内各地域コミュニティに対しては、これまで交付金による事業支援をおこなってきました。

今年度は、地域活動の指針となる「地域計画」において期間満了を迎える3地区に補助金が交付されます。今後10年間の



▲がんばるコミュニティ活動

ビジョンと事業メニューを内容とする、新計画書づくりを実施するための事業です。

また「きらり・ブラッシュアップ事業」として

従来の交付金とは別に地域の特色を活かしたユニークな新規事業を希望した団体に補助金が交付されます。

問 「地域計画」作成の交付対象地区はどこか。
答 久間地区、五町田地

区、吉田地区の3地区が対象となる。

問 補助額は。

答 1地区当たり35万円である。

問 「きらり・ブラッシュアップ事業」の事業内容は。

答 マンネリ化を防止するユニークな新規事業を提案した2団体に各25万円を限度で募集する。

楽しく参加、健康は自分の手で！

今年度、健康マイレージ事業に100万円が予算化されました。特定健診・がん検診などの受診、運動の実施、健康に関する講座等への参加や取り組みを行うことで、市民一人ひとりが健康に関心を持つきっかけづくりをおこない、健康増進を図るとともに健康寿命を伸ばすことを目的とします。



▲健康寿命を伸ばそう！

内容としては、健康マイレージシートを市民に配布し、健康に関するメニューに取り組み、目標達成がなされた場合に健康づくり課へ提出し、市内で使用できる商品券と交換ができます。この事業は、高齢化にともない、健康寿命を延ばすために、多くの自治体を取り組まれています。嬉野市においても多くの市民がさらに健康に

対し関心をもてるよう、また事業に参加しやすく楽しいメニューとなるよう期待したいと思います。対象はだれか。

答 18歳以上の嬉野市に住民登録をしている人。

問 シートの配布はどのようにするのか。

答 市報の中に折り込む。また、塩田庁舎（健康づくり課）嬉野庁舎（福祉課）にて配布する。

問 商品券の金額は。

答 500円。

災害に強い地域づくりを目指して

大草野防災広場整備事業に4,825万6千円が予算化されました。

災害発生時の災害廃棄物第1次仮置き場、また平時の災害各種訓練用として位置づけ、災害時の復旧の迅速化を図るとともに災害に備える意識の醸成を目的として、平成29年度より進められてきた事業です。

今回、広場(4,208㎡)の実施設設計ならびに整備工事をおこない今年度中に完成予定となります。

国内において、想定を超える災害が多発している。昨今、災害が起こる前の備えはもろい。被災後の想定も視野に入れた防災対策の充実も、今後必要であります。

問 平時、防災目的以外の利用は可能か。



▲整備される大草野防災広場

答 可能だと考えるが、詳細は今後協議していく。避難場所等の指定にはならない。

問 避難場所等の指定となるのか。

答 あくまでも災害廃棄物第一仮置き場であり、

急ぐべきキャッシュレスで消費増

今年度、キャッシュレス決済普及事業として70万円が予算化されました。店舗においてスマートフォンやクレジットカードを使った電子決済サービスが普及し、必須の

サービスとなりつつある今、市内事業所の電子決済システム導入促進を図り、観光客や消費者への利便性の向上を目指します。

サービスとなりつつある今、市内事業所の電子決済システム導入促進を図り、観光客や消費者への利便性の向上を目指します。事業内容として商工会の電子決済導入補助3分の2（上限5万円）、商工会・観光協会がおこなう事業広報経費補助10分の10（上限10万円）となります。



▲時代はキャッシュレス！

及び観光協会を通じ、市内事業者のクレジットカード等の電子決済初期導入費用の補助、また事業広報等の経費も補助対象となります。事業所への電子決済導入補助3分の2（上限5万円）、商工会・観光協会がおこなう事業広報経費補助10分の10（上限10万円）となります。

問 市外の事業者が市内に店舗を持つ場合は。

答 市内に店舗を持つ事業者で、旅館、商店、飲食店等、ほぼすべての中小企業者に対して該当すると考えている。

問 キャッシュレス決済では端末が必要だが端末機の推奨はあるか。

答 特段はない。

テレビアニメを活かせ

佐賀県を舞台としたテレビアニメを活用し、PRをおこなうことで観光客の増加を図る事を目的として、75万6千円が予算化されました。

テレビ宣伝によるアニメでのストーリーや聖地巡礼で観光地宣伝が人気を呼び、観光集客数が増えている現状があります。これをふまえ、新たに観光宣伝事業として、県



内でロケ地となった唐津市、佐賀市、鹿島市、伊万里市等と連携し、ポスター・グッズ等を制作しPR活動が行われます。

問 PRの内容は。

答 内容としては、チラシ作成3千枚と記念グッズ5千個を予定している。

問 放映は終了しているが、今後どう取り組むのか。

答 まだ、唐津市を中心にブームがある。また、唐津市を舞台としたアイスクレーターのアニメがあり、それも唐津市が聖地巡礼ということになっていく。お客様からいまだに求められている話も聞いており、ブームが終わるわけ



▲若者へPRを！



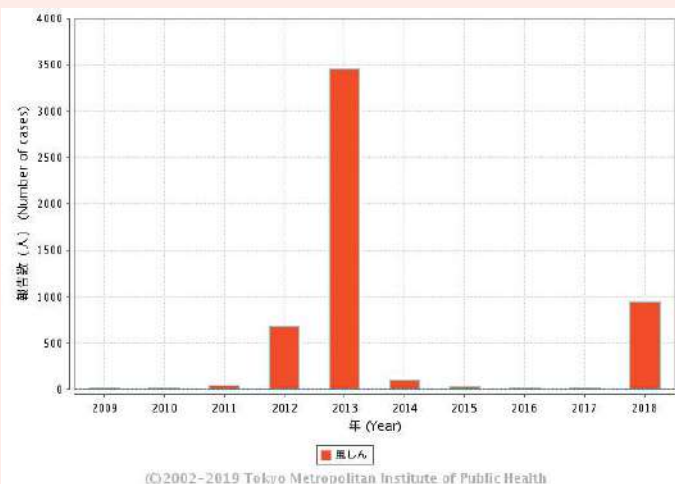
佐賀を舞台にした聖地巡礼地 嬉野編

ではないと考えている。

風しん予防接種で 安心な妊娠・出産を！

風しん患者累積報告数

(国立感染症研究所 感染症発生動向調査2019年3月20日現在)



▲防げ風しん！

今年度、風しんの急な流行に対し、予防接種をすることで「先天性風しん症候群」の発生を予防し、女性が将来も安心して妊娠・出産できるように、妊娠を希望する女性や妊婦、その同居者の風しん感染を防止し、安心安全を図ることを目的とした、風しん予防接種事業に121万9千円が予算化されました。

風しんウイルスの感染経路は飛沫感染で人から人へ感染します。妊娠20週ごろまでの妊婦が風しんウイルスに感染すると出生時に先天性風しん症候群を発症する可能性があります。日本では2013年に大流行し、昨年増加傾向にありました。これは、幼少のころに年代によっては予防接種の回数不足や予防接種の機会がなく、十分な免疫を持たない人たちが大勢いると考えられています。まず風しんの流行を抑制

するには、男女ともにワクチン接種が大事であり特に女性は感染予防に必要な免疫を妊娠前に確認しておくことが重要になります。

この事業は、平成31年度からの3年間、緊急的に実施されます。議会としてもこの制度の幅広い周知を望みます。

1回の経費はいくらか。

1万2千円（全額補助）。

何人分の予算か。

100人分。

部活動顧問教員の負担軽減を

中学校の部活動顧問教員の負担軽減と生徒への部活動指導体制の充実を図ることを目的として67万2千円が予算化されました。

県教育委員会の補助金を活用し、希望する中学校に部活動指導員を配置し、顧問教員と連携した指導体制をとることにより、顧問教員の部活動指導に係る負担を軽減させ、より丁寧な通常業務に向かわせることで学校全体の負担軽減に繋がるようにするものです。

報酬は時給1,600円と高くはありますが、勤務時間は一人当たり週6時間以内と短く設定してあります。労働基準法では週40時間、一日8時間以内の労働と定められていることから、兼業となれば条件に合致する人材の確保は難しく、根本



▲負担軽減へつながるか？

的な問題解決とは程遠い状況であります。

しかしながら、これまで顧問がいなければできなかった大会への引率や指導者単独での指導の緩和など、わずかではありますが前に進んでいる状況であり、今後学校および顧問の負担軽減に繋が

ることを期待します。

部活動指導員の募集人員は、

二人。現在すでに一人を配置する予定である。

請

願

陳

情

嬉野市情報公開条例の
改正を求める請願

請願者

「嬉野をよくする

市民の会」

代表 宮崎誠一

議会運営委員会報告

公開請求者には条例の目的に即して公開請求権を正当に行使し、適正に利用する責務がある。

公開請求に対しては、公的サービスとして労力及び時間をかけて対応しており、公開請求者を拡大することによる請求の増加が危惧されることは理解するものの、社会的な情勢や市政が多様化・広域化している現状を踏まえ、より一層開かれた市政を推進していくため、公開請求権者を「何人も」とすることにについては、検討すべき課題であると判断し、請願妥当と認めるものとする。

市民の
声を
議会へ

嬉野市職員倫理規程の
制定を求める請願

請願者

「嬉野をよくする

市民の会」

代表 宮崎誠一

議会運営委員会報告

公務に対する市民の信頼を確保するため、職員が高い倫理観を持って行動することを定める規程の必要性を認め、請願妥当と判断した。

俵坂関所跡 記念碑周辺の
拡張整備および公衆トイレ
設置について

陳情者

俵坂区長

副区長

上班班長

池田一紀

坂田数夫

山口義昇



俵坂関所跡

地域おこし協力隊員の契約打ち切り撤回を求める陳情書

陳情者

「嬉野をよくする市民の会」

代表 宮崎誠一

奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を森林環境贈与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書

陳情者

一般社団法人

日本熊森協会

会長 室谷悠子



荒廃が進む民有林

人事

嬉野市監査委員に

同意しました

富永 敏文氏
(嬉野町)



人権擁護委員に

同意しました

井上 常茂氏
(嬉野町)

人権擁護委員に

同意しました

川原 律子氏
(塩田町)

条例

嬉野市庁舎のあり方 検討委員会条例

問

制定の理由は。

今後の庁舎のあり方について総合的に検討するため検討委員会を設置する。

問

委員は何名か。

10人以内で組織する。開催は何回か。年5回ぐらい。

嬉野市中小企業・ 小規模企業振興条例

問

制定の理由は。

中小企業・小規模企業を市政の重要な柱と位置付け地域全体が一体となってその振興に取り組むことで雇用や定住、交流人口の拡大と経済の好循環を図る。

私はこちら判断

賛 否 票

○は賛成 ●は反対
議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	番号	結果	表決数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
					山口卓也	諸上栄大	諸井義人	山口虎太郎	宮崎一徳	宮崎良平	川内聖二	増田朝子	森田明彦	辻浩一	山口忠孝	山下芳郎	山口政人	芦塚典子	梶原陸也
議案第2号	嬉野市庁舎のあり方検討委員会条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	嬉野市中小企業・小規模企業振興条例について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	指定管理者の指定について (嬉野市中央体育館駐車場)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	平成30年度嬉野市一般会計補正予算(第6号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	平成31年度嬉野市一般会計予算	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	平成31年度嬉野市一般会計補正予算(第1号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	財産の処分について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	嬉野市監査委員の選任について	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	平成30年度嬉野市一般会計補正予算(第7号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	嬉野市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

市議会 Q&A どうなってるの?

Q 一般財源ってなに?

A 税金の使い道が特定されておらず、どの経費にも自由に充当することのできる財源のことです。

市民からの地方税や国県からの地方譲与税・地方交付税等です。主な使い方は、市長が提案する事業や補助金等がない事業などへ使われます。

Q 特定財源とはなに?

A 使用制限が設けられているもので、例えば道路の建設事業に充てる補助金や、先生の給与のために充てる補助金等です。目的の事業に国や県から事業補助を受ける交付金等のことを特定財源と言います。

Q 総合計画とは?

A 地方自治体のすべての計画の基本となり、地域づくりの最上位に位置付けられる計画です。長期展望を持つ計画的、効率的な行政運営指針が盛り込まれます。

嬉野市においては「歓声が響きわたるまち」を基本に考えられており、市民や行政の共通のまちづくりの指針となるものです。

Q 議会基本条例とは?

A 議会及び議員の活動の活性化と充実をはかり、また市民への情報公開と市民の市政参加を推進し民主的な市政の発展に寄与することが目的とされています。

臨時議会

臨時議会が開催される

2月18日と3月27日に臨時議会が開催され、いずれも可決しました。

2月臨時議会

平成30年度の補正予算として、ふるさと応援寄附金の追加補正が計上されました。

ふるさと応援寄附金の追加補正に

1億3,400万円

平成30年度の最終見込みとなる補正額1億3,400万円の予算がふるさと応援寄附金の追加として計上されました。昨年まで好調でありましたふるさと応援寄附金

は返礼品の見直し及び還元率割合を3割に見直した影響で激減している状況であり、内容の充実が重要となります。

があり、慎重審議し、可決しました。

企業誘致ビル整備事業

問 今の状況はいかがか。
答 昨年比の3割と大変厳しい状況である。
問 今後の対応はどうする。

答 地元産品に徹し、地元産業の振興に繋がるようPRに努めていく。

3月臨時議会

嬉野市民の人口増につながる企業誘致ビルの建設に伴う用地確保は昨年6月議会にて可決されており、それを受けて今議会が事業契約の締結の議案が提案されました。各議員から多数の意見

新幹線嬉野温泉駅(仮称)周辺に企業誘致ビルが建設されるにあたり、今回請負事業者を応募しプロポーザル方式により決定しました。

問 応募者は何件か。

答 2社の応募があった。

問 今回の契約事業者に決めた理由は。

答 大手の事業者で安心であることとデザイン力また、他の企業誘致にも協力していただけることである。

平成30年度補正予算

平成31年度補正予算

平成30年度補正予算は、歳入歳出それぞれ4億6,924万4千円を減額し、予算総額167億4,120万9千円で、一般会計の補正1件、水道事業会計の補正1件、特別会計の補正8件が上程され慎重審議のうえ可決しました。

ロック塀の倒壊事故を防ぐための改修費の補助を行う地域介護・福祉空間整備等施設整備事業や、社会資本整備総合交付金事業として実施する市道の防災工事が目立ちその他、燃料費の高騰や人件費の増等による赤字拡大に伴う生活路線バス維持やインフルエンザ・高齢者肺炎球菌等の定期予防接種の受診

各種事務事業で確定した額への補正や年度末に不用額が見込まれる額への減額補正等が主なものであります。

その中でも、国の補正予算に伴う事業として医療施設等において、ブ

平成30年度 主な補正予算

事業名	補正額
廃止路線代替バス運行費	129万円
生活交通路線維持費	656万円
障がい児施設措置費	429万円
地域介護・福祉空間整備等施設整備事業	61万円
社会資本整備総合交付金事業(市道調査・改良)	4,600万円

今年10月におこなわれる消費税の改定により、消費税、地方消費税の引き上げで、低所得者・子育て世代の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的として、プレミアム付商品券事業が予算化されました。これは、キャッシュレス決済限定の消費

者還元とともに政府がおこなう消費税増税緩和策の一環です。対象として

は、住民税非課税者と0〜3歳半の子ども世帯に、市内登録店で利用可能なプレミアム商品券を販売します。

商品券の該当者一人当たりの販売単位は5,000円の商品券を4,000円で販売しプレミアムが1,000円。販売限度額は25,000円でプレミアムは5,000円となります。

議会としては、公平な販売がなされるよう求め

プレミアム商品券

ました。

問 手続きはどうするの

答 非課税者の申請手続きは、7月から受け付けをおこない、他市町に合わせ10月頃から販売する。

問 3歳半の基準日は。

答 平成28年4月2日〜平成31年9月30日までに生まれた子どもの世帯が対象となる。

次ページは一般質問

3月議会

15議員が質問

森田 明彦 議員 (P12)

山口 政人 議員 (P12)

芦塚 典子 議員 (P13)

山口 忠孝 議員 (P14)

山下 芳郎 議員 (P14)

諸上 栄大 議員 (P15)

山口虎太郎 議員 (P16)

山口 卓也 議員 (P16)

辻 浩一 議員 (P17)

川内 聖二 議員 (P18)

諸井 義人 議員 (P18)

宮崎 一徳 議員 (P19)

増田 朝子 議員 (P20)

梶原 睦也 議員 (P20)

宮崎 良平 議員 (P21)



児

童虐待の発生等の報告はあるか

答 通報は受けているが減少傾向である

森田明彦議員

森田 児童虐待については政府も緊急安全確認をおこなうと表明されたが、近年の発生状況をうかがう。

市長 市内では、平成28年度7件、平成29年度6件、平成30年度2月末で4件の通報があるが、減少傾向である。

森田 報道では、児童相談所の対応が問題視された。県内で、この児童相談所はどこにあるのか。

子育て支援課長 佐賀市と唐津市にあり、嬉野市においては、佐賀市の中央児童相談所の管轄となる。

森田 虐待が疑われる事案が発生した時の対策および手順はどのように定めているか。

子育て支援課長 通告を受けた時は、原則48時間以内を目視で確認をして緊急度、危険度の判断により、市での支援や児

童相談所への通告、また警察への協力依頼等があるが、今後も早期発見と予防に努める。

整備に関しては、駐車場の整備等に係るものと思うので、今後所管課と協力、連携して整備ができればと考える。

「俵坂関所跡」周辺整備ができるのか

森田 当市の観光史跡である関所跡は、長崎街道を歩く方や、史跡を車で訪れる方も多し。しかし史跡地区への進入路が狭く、緊急車両も入れない状況である。進入路の拡張が必要ではないか。

建設・新幹線課長 現地を確認した。緊急車両が入れない状況というのは道路改良の判断の重要な基準となるので、今後検討していく。

森田 また、車で訪れる方のために史跡付近に駐車場の確保ができないか。

教育部長 教育委員会としても、関所跡の拡張

整備に関しては、駐車場の整備等に係るものと思うので、今後所管課と協力、連携して整備ができればと考える。

地域コミュニティセンターの防犯対策は

森田 市内コミュニティ

ティセンター敷地で不審な事案があったと聞くが防犯対策の計画はあるか。**市民協働推進課長** 地区の重要な拠点であつて安全で安心な活動ができるように、防犯カメラの設置等で更に充実した整備体制を強化していく考えである。



▲いちはやく通報を！

中 山間地の取り組みは

山口政人 議員

答 たたき台となる案も示していきたい



山口 今まで中山間地の取り組みを一般質問でしてきたが検討したのか。

市長 地域の方が、「これをやりたい」ということに対して支援をしたい。

山口 たため池改修負担軽減についてはどうか。

市長 国の制度も見直しをされているので、その時点で検討したい。

法定外税の検討を

山口 人口減で税収が減っていく中、入湯税の値上げ、宿泊税の導入を検討すべきではないか。
市長 全国的には検討しているところもあるがまずは、市内全体の課題を検討していきたい。

地域負担金制度導入を

山口 地域で負担金を出し合って全体を盛り上げていこうという、地域再生エリアマネジメント負担金制度の取り組みはできないか。

市長 今回、国の制度として創設されたばかりで、膨大な事務量も必要になってくるし、観光DMOで官民連携の立ち上げもあるので、これを進めていきたい。

山口 地方創生の第2次が平成32年度から始まるがその中で取り組みはないか。

企画政策課長 制度の中身を検討しながら、盛り込まれる分は盛り込んでいきたい。



公

園の遊具の管理は

答 点検し修繕をしている

芦塚典子議員

公共施設白書が必要では

芦塚 危険と思われる遊具はないか。

財政課長 職員が点検し、その都度修繕をして対応している。

芦塚 北部公園の丸太の遊具は管理ができていますか。

財政課長 点検の結果を見て対応してきました。



▲子どもたちの遊具は安全か？

芦塚 公共建築物等の40年間の更新費用は458億円であり、長寿命化計画で約150億円を削減する試算がある。道路・橋りょう・上下水道などの資産の額はどうか。

建設・新幹線課長

市道橋が295橋、市道600路線、約300kmで整備率は約70%である。

芦塚 道路・橋りょう・上下水道・農集排などの施設の更新価格はいくらか。

財政課長 40年で634億円の更新費用がかかる。

芦塚 これらの費用がわかる白書が必要ではないか。

市長 インフラを盛り込んだ公共施設等総合管理計画を今策定している。

視察対応はどのように

芦塚 県内外の市町村らの行政視察が多いが説明の仕方はどうしているか。

産業建設部長 パワーポイントを駆使して対応している。

芦塚 市のPRが必要ではないか。
市長 市の概要説明で

シテイプロモーションを強化し市のPRをしていく。

新学習指導要領について

芦塚 その対応は。

教育長 思考力や問題解決能力をつける教育に重点をおき、特に英語学習が変わるので、教育内容の推進部会を立ち上げ検討し準備をしている。

芦塚 環境整備や教員の加配が必要になるのではないか。

市長 県、教育委員会と連携しながら人員の確保、資質の向上を目指す。

子どもの虐待状況は

芦塚 市の状況は。
子育て支援課長 近年数件の相談件数がある。

芦塚 全国の事件後、緊急会議を持たれたか。

子育て支援課長 定例会議では、警察等関係機関と情報共有に努めている。

公共施設管理計画について

山口 今後、公共施設の在り方はどうなっていくのか。

市長 個別の管理計画を立てていくことになるが、財源不足、人口減少に合わせながら、施設の小規模化、また統廃合を基本に進めていく。

久間工業団地について

山口 今後の見通しは。

市長 久間工業団地も含めて企業誘致に取り組みたい。

水道事業について

山口 今後の水道事業の在り方と水道料金についてどうなっていくのか。

市長 平成32年度から他の市町、企業団と統合を行い、運営していくことになる。統合後3年程度は現行料金で行くがその後は、段階的に見直すことになる。

山口 水道の民営化はどうか。

市長 想定していない。



▲誰が守るのか中山間地

今

後のまちづくりの進め方は

答 判断材料を示しながら
市民の声を聞く

山口忠孝議員



山口 医療センター跡地活用のアンケートの意図は何か。

市長 昨年12月に実施した110件の意見が寄せられた。まずは市民の意見を聞き、グラウンドデザインを描きたい。市民の関心も高くこれからのまちづくりにおいて非常に重要だと考えている。

山口 今後も市民の声を聞く機会はあるのか。

市長 アンケートの結果を踏まえ、全体的なグラウンドデザインを練ったうえで、以前おこなったサウンディング調査の結果と合わせて民間事業者の誘致活動に動き始めているところだ。新たな材料が揃ったところで市民の声をうかがう。

山口 市民とのワークショップは考えられないか。

市長 進捗状況に応じて情報を提供して市民の意見をうかがうのは当然だ。

山口 アンケートの結果をどう考えているか。

市長 明確な位置づけをした上でさまざまな施設の誘致や公共施設の建設を検討する流れになる。

山口 今後の予定は。

企画政策課長 まずは新しい医療センターと土地の等価交換を進め、建物は整備内容により残すか解体するか決定する。時期は未定である。



山下 現医療センターは歴史、温泉、西公園また、高速道インターに近く、隣接の病院もあり、約12haの広大な土地は魅力がある。世界に誇れる医療福祉ゾーンのまちづくりの展開ができないか。

市長 それぞれの意見の選択肢として検討したい。

山下 高度医療や福祉の国際大学の誘致の考えは。

市長 魅力的な政策の一つとして検討する。

山下 急性期型病院であり、地域医療機関との連携が大事である。医療機関の誘致の考えはないか。

市長 検討したい。

空き家の有効活用を

山下 空き家の増加が著しいが、どう思うか。

市長 最重要課題の一つと認識し、空き家の活用を推進して行く。

山下 外部委託で作成した調査データは3年前の状態であるが、なぜか総務課長 更新されていないので更新し、改良を検討したい。

山下 900万円の費用をかけているので、活用する事が大事ではないか。

市長 現状でも活用できる。

山下 市職員と市民の中間に地域の代表や民間の専門知識のある方で調査し、市へ報告する組織を作ってはいかがか。

市長 パートナーを組むことは重要と思う。

企画政策課長 空き家バンクアドバイザー制度を設け委託した。

山下 本市は日本一の泉質の温泉など豊富な素材に恵まれている。素材をパッケージ化して移住

医

療センター跡地は医療福祉ゾーンに

答 選択肢の一つとして検討する

山下芳郎議員

促進につなげてはいかがか。め検討したい。

市長 地域資源を組み合わせてプレゼンする。

大規模駐車場の整備を

山下 嬉野商店街に草津温泉のような大きな駐車場を確保すべきではないか。

市長 草津の事例も含

佐賀空港をハブ空港に

山下 佐賀空港をアジアの拠点となるハブ空港に格上げする動きがあるが、考えはいかがか。

市長 経済界も動いているので、必要に応じて連携をとる。



▲活用が期待される医療センター跡地



▲どうなる？跡地活用

山口 嬉野公民館や公会堂は3月末で使用中止となる。消防署も数年後移転する。嬉野庁舎の老朽化・耐震問題などをどのように対処し、まちづくりを進めていくのか。

市長 受益者は市民であるので官民連携を進めていく。いずれその問題についても判断材料を示しながら市民の声を聴いていく。

山口 市有林の現状は。
農林課長 販売価格の低迷で採算が採れず、伐採も搬出もできない状況である。

山口 人工林を自然林に戻したり、木材を公共建築に活用してはどうか。
農林課長 水源涵養の維持や土砂流出防止の役目を踏まえながら、森林整備を計画的におこなっている。木材の有効活用についても経営計画作成を予定している。



諸上 国の介護分野の革新構想の中で、ベッドメイキングや居室の清掃

食事の配膳・下膳など、高度な専門性を必ずしも必要としないノンコア業務の考え方があがるが、市長の考えをうかがう。

市長 人材不足の解消や、高齢者の活用という視点では有望な選択肢であると考える。その辺を進めていけば人材不足の問題解消にもつながると思う。

諸上 高齢者施設や介護事業所等が業務を精査することと並行しながら新たな取り組みとして、高齢者雇用と就労機会の拡大、福祉人材のマンパワリーの底上げを目指すためにも、市としてノンコア業務従事者、いわゆる介護補助員養成を行い、マッチングするシステムを検討してみてはいかがでしょうか。

高齢者施設に ノンコア業務の取組みを

答 有望な選択肢と思う

諸上栄大議員

市長 どのような形で制度設計ができるか研究してみたいと思う。いずれにせよ施設や地域のニーズというものをしっかり把握し、制度設計を考えていくというような点に立ちたい。

活用した予防事業の展開が考えられないか。
市長 佐賀女子短期大学の先生が、お茶とアルツハイマーの相関係の論文も書かれていることを承知している。対象実験や結果の精度が上げれば、医学的な根拠に基づ

きお茶と認知症予防というのを直接リンクできると考える。今しばらくはチャオシルで認知症予防講座を開くという形で間接的に結びつけるという手法であれば検討できると思う。

介護予防事業について

諸上 さまざまな予防事業が展開されている中認知症予防の取り組みに関して薄いような感じを受けるが、どのように考えているか。

福祉課長 認知症予防事業については、認知症の理解を深めるための取り組みと、認知症の本人や家族を支援するための取り組みが必要と考える。
諸上 認知症の介護予防を展開する中で、予防の効果が高いお茶があると思うが、チャオシルを



▲ノンコアで人材不足解消



市長は政治責任について どう考えるか

山口虎太郎議員

答 不信感を抱かせる結果にお詫び申しあげたい

山口 7月の災害復旧中にも出張しなければならなかったのか。

市長 7月9日の出張については発災前から決まっていた。地元から寄せられた被災情報をもとに担当課と復旧方針を協議した。8日には被災された方を戸別訪問し、至急対応点は担当課へ指示し、被災状況の把握に努めた。上京後、総務省との意見交換会は中止されたが、総合的に判断し九州新幹線西九州ルート的重要活動は予定通りおこなうため、上京を決めた。

山口 会食の事案に、市長は社会的責任、職員への監督責任、自分への自己責任を考えなかったのか。

市長 会食をしたという事実に対して、また、事実と異なる風聞、憶測と絡めて拡散をしたこと

ろで誤解、また不信感を与えたことは大きな責任を感じている。

山口 職員の倫理についてどう考えているか。

総務企画部長 職員の

今回こういった写真等、情報が出たことは公務員としてあまりよくなかった。

副市長 現在、審議を

おこなっているが、市長が供応に当たらずとの見解に職員についても服務規定には違反していないかと考えている。倫理規定は今後整備していく。

農業振興を図れ

山口 農業振興施策の重点施策は。

市長 人口減少が問題

となる中で、地域の担い手、若い人が生活設計を立てられる施設園芸に環境制御技術を用いれば、

有望な分野や初期投資の負担感をなくし、農業に取り組み環境づくりを整備できると考える。茶業においても個人、任意のグループ活動の支援、また、茶業振興会議を検討し効果を実感できる施策を打ちたい。

その他の質問

■空き店舗改修事業について

山口 兼業農家対策に

市内で働ける企業誘致を

市長 多様な働き方が

できる環境づくりの施策は必要と考える。



▲議会の責任は重い

方通行化社会実験を終えての後は

山口卓也 議員

答 皆で道路空間のデザインを話し合いたい



山口 一方通行化社会実験を終えて、賛否両論の中、所感をうかがう。

市長 アンケート結果でも賛否が分かれた。一方通行を前提とした実験ではなく、アンケート結果を踏まえ、また一から今後の中心地のあり方や

賑わいの創出について市民と協議していきたい。

山口 社会実験開始前に地域住民に話が行き届いていなかったことについてどのように考えるか。

市長 重く受け止め、これからのまちづくりに当たっては、多様な市民参加を図るための工夫をしていきたい。

山口 何の対策も打たないで将来のまちが今まと同じように維持できるとは考えられないが、今後の展開をうかがう。

市長 色々な組織の方の分科会をつくり、目指すべき道路空間を提案し話し合うことで、市民が納得する道路空間を模索していきたい。

広域道路行政の考えは

山口 市外へのアクセ

ス向上を考えることは嬉

野市の活性化のために必要

なことで考えるが、県への要望状況と有明沿岸道路や西九州自動車道へのアクセ

市長 塩田を通る広域



中

山間農地に棚田法案を活かせ

辻 浩一 議員

答 新制度の動向を注視して行く

【辻】 五月の連休明けに国会へ棚田地域振興法案が提出され、今まで農産物の生産地としての評価

【農林課長】 兎鹿野地区を含め山間部に水田があれば、ほぼ棚田ではないかと思う。

しかかなかつたが、水源確保や景観の維持という観点で議論がなされる。嬉野市で棚田としての認識がある地区はあるか。

【辻】 棚田法案での直接的な補助制度はないが、各省庁で棚田維持に活用できる制度をコンシエルジュという人員を配置し



▲多くの役割をもつ棚田

【辻】 実際の試算を示しながら沿線自治体はじめ県民に理解いただく作業が必要ではないか。

【市長】 パフォーマンスではなく地道な作業の繰り返しですが政治の原点であると思うので、しっかりと汗をかいていく。

【市長】 現在、県が示す追加負担金は、さまざまな制度を検証された数字なのか市長の見解は。

フル規格を目指せ

【辻】 JRへの貸付料や交付税措置など含めた議論を注視していく必要があると考える。

【市長】 交流人口の増大に大きく期待を寄せている。広島でのPR事業において、嬉野まで一時間

【辻】 フル規格に向けては県内での合意形成が重要である。他の自治体への働きかけはどうするの

【市長】 荒廃農地対策、施設園芸の新規就農、お茶の振興などの農業政策の充実、また、教育振興



▲にぎわいのある商店街をめざせ！

紹介して行く事業である。情報をつかみながら、しっかりと維持管理に活かしてほしい。

【辻】 フル規格の意味は時短とともに、乗り換えなしで中央に行き来できることが重要である。交流人口増加の後押しになると思うがいかがか。

【市長】 交流人口の増大に大きく期待を寄せている。広島でのPR事業において、嬉野まで一時間

【辻】 フル規格に向けては県内での合意形成が重要である。他の自治体への働きかけはどうするの

【市長】 パフォーマンスではなく地道な作業の繰り返しですが政治の原点であると思うので、しっかりと汗をかいていく。

幹線道路の国道498号線の早期着工の要望や、その他に平成30年度は9路線の要望活動をおこなっている。有明沿岸道路が鹿島市まで延伸すれば佐賀市内が通勤圏内になると認識している。近隣の首長と情報交換をしながら広域道路の要望を図りたいと考える。

市長就任2年目の重点施策は

【市長】 荒廃農地対策、施設園芸の新規就農、お茶の振興などの農業政策の充実、また、教育振興

や子育て世代の応援策などでソフト面の取組みを強化し次世代の人材育成を図りたい。

その他の質問

- 公務員倫理について
- 地域おこし協力隊の活用について
- 新幹線整備について
- チャオシルの長期活用について

早

期に二次交通の構築を

川内聖一議員

答 さまざまな研究をおこなっている



川内 新幹線と連携する二次交通の構想は。

市長 市内の方も含めさまざまな構想を、事業者と連携し総力を挙げて取り組んでいきたい。

川内 市内観光の具体的な二次交通の構想は。

市長 荷物を駅に預けての手ぶら観光とレンタサイクル等、さまざまな研究をしている。

川内 市内を周遊する観光バスの構想は。

市長 基本的には、事業者がおこなうのが望ましいが、経営が成り立つかが重要と考える。

川内 新幹線開業まで

市長 レンタカーの事業者が事業を展開してもらうよう期待する。

川内 通勤、通学に新幹線を活用される方々に対しての考えはあるのか。

市長 駐車場の確保を検討している。

川内 駐車台数は。

建設・新幹線課長 約200台駐車できるように計画をしている。

川内 定住促進を図るため、通勤、通学の交通費に助成金の考えは。

市長 通勤の方の定住性を見込み、何らかの方向性を出さなければいけない



諸井 専門性の高い人材を早く確保するために採用試験に大学卒卒を導入してはいいかがか。

総務課長 今後検討していきたい。

諸井 給与ラスパイレス指数は、県内10市の中で最低である。職員の勤務状況を考えると改善して、仕事に見合う給料で士気高揚を図るべきではないのか。

市長 職員一人ひとりの仕事ぶりを把握していくという点では責任がある。

会計年度任用職員制度について

諸井 職員のうち151名の約40%が臨時及び一般職非常勤職員である。来年4月には新地方公務員法による任用になり、ボーナス等の支給が増える。対応はどうしているのか。

職

員採用試験に大学卒業卒の導入はできないか

諸井義人議員

答 今のところ検討していない

諸井 専門性の高い人材を早く確保するために採用試験に大学卒卒を導入してはいいかがか。

総務課長 現在、制度設計や例規改正等専門業者に委託して見直しをおこなっている。

諸井 給与ラスパイレス指数は、県内10市の中で最低である。職員の勤務状況を考えると改善して、仕事に見合う給料で士気高揚を図るべきではないのか。

市長 職員一人ひとりの仕事ぶりを把握していくという点では責任がある。

諸井 県知事に対してどのようなアプローチをおこなっているか。

市長 市長会の場や県との意見交換会などを利用して、粘り強く協議を進めている。

諸井 貸付料や地方債を入れての試算の方法では、佐賀県の負担は少なくなるのではないかと思うがいかがか。

市長 国の責任において財政負担の軽減を図るよう求めている。



▲活躍が期待される新採用職員

親和性の高い企業誘致とは

諸井 地域資源と親和性の高い企業誘致を進めるとはどういうことか。

市長 農産物加工の工場誘致も選択肢である。材料供給で農業の支援体制も大事である。

二ユー観光戦略の今後は

諸井 西九州佐世保広域都市圏協議会脱退後の観光戦略はどうするのか。

市長 都市間連携をしないということではない。観光など連携できる分野は積極的にやっていく。嬉野温泉駅を最寄り駅として、佐世保やハウステンボスとの連携を図り、双方の互惠関係を築いていきたい。

いと考えている。

塩田川の堆積土の改修は

川内 豪雨に二年続けて見舞われたが、嬉野橋温泉橋周辺の堆積土の改修が行われていない。要望はしているのか。

建設・新幹線課長 管轄の杵藤土木事務所は、嬉野橋の周辺に関しては改修すると報告を受けた。

川内 温泉橋の一带は昔から嬉野のシンボルで

あり観光地の一部である。また、時期によっては異臭等も発生する。あらためて強く改修を要望する。

市長 古くから川なみの温泉地として非常に重要な場所と認識している。早く改修してもらおうよう望んでいる。

川内 駅周辺方面までの遊歩道の整備はどうなっているのか。

産業建設部長 県に話したがる、具体的な話まで至っていない。



宮崎 道路行政の進捗はどうか。

建設・新幹線課長 市道路線が600路線、延長300キロメートルと多数であり、道路改良は予算の範囲内で進めている。一つの道路改良を全て一度にやることはできず、要望書等出していた

だけ、それを市で確認することを最初の手順としている。一つの基準として俵坂にあるような緊急車両の出入りが困難な箇所は重要な基準と捉えている。

宮崎 医療センター開業後の交通渋滞緩和策は

市長 嬉野医療センターだけでなく嬉野温泉駅商業施設の立地を踏まえた発生交通量や通過交通の推計等もおこない、

信号の必要性、処理時間そして、交差点の右折レーンの必要性や滞留量など協議しており、国道

緊

急車両の通行が困難な市道の整備は

答 重要な基準だと捉えて改良を行う

宮崎一徳議員

34号線やその他の道路の混雑の発生は最小限となる。

増える空き家をどうする

宮崎 嬉野市空家対策協議会の開催状況をうかがう。

総務課長 平成29年度は主に嬉野市空家対策の策定に向けた協議を4回

おこない計画を策定した。平成30年度は、特定空家等対策や空家バンク制度について協議した。

宮崎 特定空家の基準は定められたか。

総務課長 平成30年度に開催した空家対策協議会において特定空家の判断基準及びガイドラインを策定した。

宮崎 特定空家の認定はどのようにしているのか。

総務課長 平成30年度9月に開催した協議会に

おいて特定空家を1件認定した。

宮崎 特定空家の解体への取組はどのようになっているのか。

総務課長 「国の空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、助言、指導、次の段階として勧告、その後、改善命

令を出している。また、空家等の公告をおこなっている状況である。

その他の質問

■児童等虐待への対応について
■マイナンバーカードについて



▲早急に観光周遊バスへの取り組みを



▲整備が待たれる市道



地域猫活動の導入の考えは

増田朝子議員
答前向きに検討したい

増田 平成28年6月より飼い猫の去勢や不妊手術代に対し、年間15万円の助成があるが、実績はどうか。

環境下水道課長 平成28年度42件、平成29年度45件、平成30年度は2月までで32件である。

増田 猫に関しての苦情はあるか。

環境下水道課長 飼い猫、のら猫に関わらず、糞尿に関する苦情が数件ある。

増田 猫は年に2〜3回発情（100%妊娠）し、1頭の猫が1年後には15頭以上に増えることもあるなど「猫の適正飼養のガイドライン」に掲載されているが、知っているか。

環境下水道課長 承知している。特に飼い主への指導に関しての必要性が示されている。

増田 地域住民が主体となり、一定の合意のもとに飼い主のいない猫への餌やりやトイレの設置などのルールを定め、不妊去勢手術等の管理を適正に実施して猫の排除をしないように問題の解決を図ることが、県の地域猫活動事業にあるが、導入できないか。

環境下水道課長 飼い主への適正飼養の啓発が大事だが、地域猫活動の導入も考えなければと思う。

市長 市民の同意をもらい、地域で希望があれば、前向きに検討したい。

イベントカレンダーの一元化を

増田 以前にもイベントカレンダーの充実について質問をしたが、どのように変わったか。



▲適正な管理が必要な地域猫

企画政策課長 スポーツ、観光、文化、産業など催し物のカレンダーと健康、福祉子育て、相談などの暮らしのカレンダーの2つを掲載している。

増田 イベントカレンダーの一本化、または観光協会、体育協会などへリンクさせてはどうか。

企画政策課長 掲載へ

向けて検討していきたい。

市長 イベントについては、情報収集をし、その情報を一元化して市民や観光客に提供できる形をつくるのが理想とと思う。

その他の質問

■児童虐待について

「認知症条例」の制定を

梶原睦也 議員

答 検討してみたい



梶原 認知症に対しての課題は何か。

市長 周囲の理解と当事者家族のケアである。

梶原 認知症養成講座の受講者である認知症サポーターの状況は。

福祉課長 これまで1,567人が受講した。

講座は年5〜6回開催している。

梶原 サポーターの活用が大事だがどう考えるのか。

福祉課長 現場で対応できる養成を考える。

梶原 認知症の方の数は。

福祉課長 推計で1,039人程度。

梶原 対象者に対する情報提供が必要ではないのか。

福祉課長 ガイドブックを提供している。また広報や講習会等も開催している。

梶原 うつ病対策として、SNSを使った「こころの体温計」がある。認知症対策での活用も取り組めないか。

福祉課長 認知症予防にも十分効果があると認識する。

市長 早急に調べてみる。

梶原 認知症初期集中支援チームとは何か。

福祉課長 社会福祉士作業療法士、保健師、看護師、精神保健福祉士の5名。対応が困難な状況



新 幹線フル規格に向けて 今後どう動くのか

宮崎良平 議員

答 フル規格での整備を強く要望していく



▲フル規格に向けあらゆる対策を？

いくつもの課題を克服し、新幹線の効果が波及する仕組みづくりをしていくことで

また広域に新幹線の効果が波及する仕組みづくりをしていくことで

佐賀県を構成する自治体の一つでもあり、県の考え方も理解した上で、収支を改善する費用対効果、

望等は強めていくが、佐賀県を構成する自治体の一つでもあり、県の考え方も理解した上で、収支を改善する費用対効果、

望等は強めていくが、佐賀県を構成する自治体の一つでもあり、県の考え方も理解した上で、収支を改善する費用対効果、

望等は強めていくが、佐賀県を構成する自治体の一つでもあり、県の考え方も理解した上で、収支を改善する費用対効果、

望等は強めていくが、佐賀県を構成する自治体の一つでもあり、県の考え方も理解した上で、収支を改善する費用対効果、

また広域に新幹線の効果が波及する仕組みづくりをしていくことで

また広域に新幹線の効果が波及する仕組みづくりをしていくことで

また広域に新幹線の効果が波及する仕組みづくりをしていくことで

また広域に新幹線の効果が波及する仕組みづくりをしていくことで

また広域に新幹線の効果が波及する仕組みづくりをしていくことで

また広域に新幹線の効果が波及する仕組みづくりをしていくことで

また広域に新幹線の効果が波及する仕組みづくりをしていくことで



▲急がれる認知症対策

送った。に判断し見

送った。に判断し見

送った。に判断し見

送った。に判断し見

送った。に判断し見

送った。に判断し見

送った。に判断し見

議会の機能強化へ

議会運営委員会

調査など議会の機能強化に繋がると言える。今後災害発生の復旧復興対策など、早期着手が必要な場合の議会対応について嬉野市議会でも議論が必要ではないかと考える。

傍聴規則については、本会議をケーブルテレビやインターネットでの配信をおこなっており、写真、映画等の撮影及び録音等の禁止を廃止している。当市は、許可制としている。規則を順守していたただく事を前提に、許可制を廃止することを検討してもよいと考える。

目的

議会基本条例並びに傍聴規則他、議会運営全般について、三重県鳥羽市議会と亀山市議会へ訪問し調査をおこなった。

委員会の意見

鳥羽市議会視察
鳥羽市の通年議会については、近年の異常気象による緊急事態に対する議決案件の機動性や追跡

調査など議会の機能強化に繋がると言える。今後災害発生の復旧復興対策など、早期着手が必要な場合の議会対応について嬉野市議会でも議論が必要ではないかと考える。

傍聴規則については、本会議をケーブルテレビやインターネットでの配信をおこなっており、写真、映画等の撮影及び録音等の禁止を廃止している。当市は、許可制としている。規則を順守していたただく事を前提に、許可制を廃止することを検討してもよいと考える。

では市民からの紙ベースでの要望も多く議会だよりにも注力されていた。手に取って頂くという点においては、同じ認識であり、現在の編集方針が良いと思う。

傍聴については傍聴規則の順守と良識ある行動が求められる。

最後に両市議会同様に議会の公開を進めながら議会としての役割や重要性を市民に理解していただく努力を続けていかなければならないと考える。

鳥山市議会 視察



鳥山市議会
改革の取り組みについては、カルテを作成し、常に課題を整理し進捗状況を認識している事は、大いに見習うべき点であった。広報について

議会は どうあるべきか

議会活性化特別委員会

目的

嬉野市議会では平成21年に議会基本条例を策定し、議会の改革や活性化に取り組んでいる。

しかし、議会を構成する議員も入れ替わり、議会を取り巻く時代環境も変化してきている。

今後はどのような議会を目指すのか、議会はどうあるべきなのか、もう一度原点に返って考える必要がある。

今回、議会改革に先進的に取り組まれている大阪府堺市議会と八尾市議会へ視察におとずれた。

委員会の意見

堺市議会（議員47名・事務局職員28名）、八尾市議会（議員28名・事務局職員15名）ともに大阪府を代表する自治体で、議会改革度ランキングで上位にあり、その実態に触れることができた。

まず、両市議会とも事務局が充実している事であった。

人口、財政が大きいことで理解もできたが、市民の側に立った議会が担っている責任の重さを改めて感じさせられた。

本市における議会視察の対応は、議員自らがおこなっており研修や勉強にもなっている。また、議員間の交流の場として役立っているの

はないかと認識を新たにしたいところである。

委員会の一つのテーマを決めて政策提言や政策するやり方は、議会の役割として、市民の声を聞きながら、行政の改革改善に結び付けていくという本来の姿である。

議員として市民の福祉向上に努めることの責務と捉え、当市議会でも参考にしたい。



平成31年第1回嬉野市議会定例会 会期日程

会期22日間 3月1日～3月22日

日次	月日	開議時刻	区分	日程
第1日	3月1日(金)	午前10時	本会議	開会、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、議案一括上程、提案理由説明、委員長報告
		本会議終了後	委員会	議案の詳細説明
第2日	3月2日(土)		休会	
第3日	3月3日(日)		休会	
第4日	3月4日(月)	午前10時	委員会	常任委員会
第5日	3月5日(火)	午前10時	委員会	常任委員会
第6日	3月6日(水)	午前10時	委員会	合同常任委員会
第7日	3月7日(木)	午前9時30分	本会議	一般質問(5人)
第8日	3月8日(金)		休会	※中学校卒業式
第9日	3月9日(土)		休会	
第10日	3月10日(日)		休会	
第11日	3月11日(月)	午前9時30分	本会議	一般質問(5人)
第12日	3月12日(火)	午前9時30分	本会議	一般質問(5人)
第13日	3月13日(水)		休会	
第14日	3月14日(木)	午前10時	本会議	議案質疑
第15日	3月15日(金)		休会	※小学校卒業式
第16日	3月16日(土)		休会	
第17日	3月17日(日)		休会	
第18日	3月18日(月)	午前10時	本会議	議案質疑
第19日	3月19日(火)	午前10時	本会議	議案質疑
第20日	3月20日(水)	午前10時	本会議	議案質疑
第21日	3月21日(木)		休会	(祝日)
第22日	3月22日(金)	午前10時	本会議	討論・採決、閉会

手に取りたいと思える議会だより

議会広報編集特別委員会

目的

市民が手に取りたいと思える議会だよりにするために、埼玉県伊奈町議会と深谷市議会にて調査研究をおこなった。

委員会の意見

伊奈町議会

伊奈町議会だよりについては、表紙および終面のこだわりと着目点には感心した。
表紙においては、「縁の下の力持ち」というテーマのもと、シリーズ化し、普段目にするこ

はないが、地域に貢献されている仕事や人にクローズアップした写真と仕事内容が掲載されており、住民との近さと温かさを感じた。

終面においては、ツイ

ズ(クロスワードパズル)を毎回作成し、回答用紙のコメントを「読者の声」として掲載している。

伊奈町議会の仕組みは今後の編集活動に役立たい。

深谷市議会

深谷市議会だよりの魅力は、なんといっても表紙の鮮やかさ、またポス



トカードにできそうな写真の美しさである。そして、徹底した市民目線での広報紙づくりを意識さ

れており、編集委員会に印刷業者が入り、プロ目線を入れながら一緒に作り上げ、近隣自治体との勉強会および出版社への研修会参加などの努力が完成度の高さに繋がっていると感心した。

また、記事中で強い言葉や文字にするときには、やわらかな色合いで表現するよう心がけているというこだわりには感心し、意識の高さに驚いた。

QRコードの掲載においては、費用対効果も含めた今後の課題として検討していきたい。

閉会中の委員会付託案件

付託委員会名	付託事件名
総務企画常任委員会	バリアフリーの取り組みについて
文教福祉常任委員会	健康づくりについて
産業建設常任委員会	水道事業について
議会運営委員会	各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項

と
き
の
人

姉妹絵本作家

ちえちひろさん（嬉野町吉田）

今回は、姉妹の絵本作家であり、3月23日から24日に開催されたうれしの絵本カーニバルの実行委員「ちえちひろ」さんをご紹介します。

問：初めての絵本カーニバルを開催した感想は？
ちえちひろさん：実行委員会を立ち上げましたが準備から主体的に動かないといけないなと思ったので大変でした。しかし、800人以上の方々に来場していただき、非常にリラックスした雰囲気を楽しんでもらえてよかったです。

問：絵本作家を志したのは？
ちえちひろさん：元々、絵本作家は目標でした。小さい頃から絵本が身近にある環境だったし、母も絵本が好きでよく読んでくれた。しかし、憧れ過ぎて、手の届かない存在でもありました。

問：憧れの職業として夢が叶ったのは？
ちえちひろさん：19歳からイギリスの美術大学に進学しイラストレーターをしていて、個展等もおこなってました。その時、「自分からアクションを起こさないといけない」と絵本を自費出版し、出版社から声をかけてもらったのがきっかけですかねえ。

ちひろさん：私は働きながら、いつか姉と一緒に活動したいと思い、機会があれば色々絵を描いていて、姉の帰国がきっかけで一緒に活動するようになりました。

問：という事は、お互い絵を描くことがとても好きだったという事ですね。

ちえちひろさん：はい!! (笑)
問：絵本の良い所は？

ちえさん：絵本は親子のコミュニケーションツールですね。例えば、テレビやスマホは与えておけば、勝手に見れますが、絵本はお母さんやお父さんの膝に座り、声を出して読むことで動きのない絵が、想像力を使って自分の世界を作り出す。想像力を豊かにすることは非常に大事なことでと思います。

ちひろさん：絵本カーニバルを開催しようと思ったのは、文化的な子ども居場所づくりのためでもあるし文化的な事は自分から探し、見つけていけないといけない、そのために想像力の豊かさが非常に大事だと思うし、その想像力を作り上げるところが絵本の素晴らしいさだと思います。

問：ところで、趣味とかはありますか？
ちえちひろさん：家庭菜園やピクニック。いやあやっぱり嬉野の温泉巡りですかね。リラックスできてます。

問：最後に一言皆さんに伝えたいことは？
ちえちひろさん：一番は、「絵本は楽しい」、という事です。「絵本を読まねば」と思う事ではなく、「楽しいから読もう!!」という意識が大事だと思います。例えば、逆に読んでいたり、最後から読んでいたりしてもいいんだよ、という気持ちで付き合ってもらいたいんです。人生や生き方をすべて受け入れて肯定してくれるツールだと思います。絵本にたくさん触れてもらい、体と心の基礎づくりが応援できればと思います。

議：お二人の話がうかがっている中で、想像力をかきたてる絵本のすばらしさ、また、大切さを実感した。今後、お二人の活躍を大いに期待して、応援していきたい。



(左) ちひろさん (右) ちえさん

コラム

30年間という平成の時代に終わりを告げ、初めて日本の古典から出展された「令和」の新しい時代の幕開けとなった▼これまで昭和・平成と年月を重ねて「令和」を迎えるにあたり、人生100年、折り返しを過ぎたことを改めて感じた▼そのような中、今回「とさの人」で掲載されている「ちえちひろ」さんによる「うれしの絵本カーニバル」がリバイティブで開催された。新しい絵本の見方、触れ方、また居場所づくりなど今の時代に求められている空間デザインを見せてもらった▼この嬉野のまちを愛し、ここに生活しているたくさんの若者たちがそれぞれの分野で頑張っている姿を目にする▼「令和」の時代が若者や子どもたちにとって希望に満ちた時代になる事を願い、私も一議員の立場で精一杯応援していきたいと思う
(朝子)

議会広報編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 宮崎良平 |
| 副委員長 | 芦塚典子 |
| 委員 | 山下芳郎 |
| 〃 | 辻浩一 |
| 〃 | 増田朝子 |
| 〃 | 山口虎太郎 |
| 〃 | 諸上栄大 |